

忍術膝栗毛 天國篇

帝キネ時代映畫

原作並脚色者 江左卦 吞兵衛
監督者 和志田 誠

主要役割

猿飛佐助 實川 延松
清海人道 阪東 豊昇
甲賀龍雲齋 市川 海老三郎

戸澤若丸 嵐 徳太郎
阿部四郎五郎 佐 賀清一

水野十郎左衛門 清島 緑之助
天國の使姫 高津 愛子

猿化仙人 岩 井竹 緑
草駄天お六 二條 玉子
解説—江後岳翠氏の「木下藤吉郎」に次ぐ監督作品である。

略筋—草駄天お六は山下に轉げ落ちた清海を嗤笑つて去らんとしたが突然現れた戸澤若丸に立向はれ敵せずして逃げ出した。佐助は龍雲齋と争ひつゝ天國へ上り更に天國より鑿梯山へ降りて尙闘ひ續けた。若丸に救はれた清海も亦風に乗つて天國へ行つたが僧侶の身の不慣の罰として軀を小さくされてはり山へ落された。龍雲齋は佐助の爲め危い所を此處に洞窟を構へる師猿化仙人に助けられお六もまた仙人に事情を語つて助けを乞ふた。豆清海は仙人を追つて彼の洞窟内に入り惱まされてある所を佐助に助けられて元通りの體に返つたが争ふ内箱の中へ閉ぢこめられた。佐助も妖術にかまつて同じ箱に入られたが欺いて逃れ争闘の未空を逃げて行く。龍雲齋お六を清海に翅を興へて追ひかけさせ、自分は仙人を介して同じく雲間へ向つた。



寫眞 「忍術膝栗毛」帝キネ江後岳翠作品。中央が阪東豊昇。